

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成27年度第12回定例会
開催日時	平成28年3月23日(水) 18時30分から20時20分まで
開催場所	柳沢公民館 第1会議室
出席者	委員：野間春二、馬場真由美、中曽根聡、石田裕子、武司一郎、廣田幸雄、松嶋真、糸山時子、瀬川容子、上田幸夫、呉世蓮、小林克彦、大野雅生 職員：伊田館長、矢澤主幹、平井事業係長、小笠原分館長、長谷部分館長、水野分館長、川口事業係主任、星野主任
欠席者	委員：真鍋五十鈴 職員：鴨志田分館長
議題	1 平成27年度第11回定例会の会議録について 2 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 都公連関係報告（委員部会関係報告） (4) 文化財保護・活用計画策定委員会報告 (5) 合築複合化基本プラン策定懇談会報告 3 審議事項 (1) 平成28年度事業方針・事業計画（案）について (2) 事業計画書・事業報告書について 4 協議・確認事項 ・ 諮問事項について 5 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	平成27年度第12回定例会次第 平成27年度第11回定例会会議録(案) 平成28年度西東京市公民館 事業方針（案） 平成27年度第12回公民館だより編集室会議（要旨） 東京都公民館連絡協議会役員当番市輪番表 諮問「西東京市公民館の主催事業における市民との協働・市民参加について」
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input type="checkbox"/> 有り(人) <input checked="" type="checkbox"/> 無し
会議内容	
<p>議題1 平成27年度第11回定例会の会議録について ○訂正事項 出席者に瀬川委員を追記</p> <p>議題2 報告事項 (1) 行政報告 館長：①教育委員会表彰 3月13日の教育委員会で、元委員の渡辺文子さんが表彰された。 ②議会報告 3館合築について陳情が出ており、継続審議となっている。</p> <p>(2) 公民館だより編集室報告 事務局：「平成27年度第12回公民館だより編集室会議（要旨）」に沿って報告</p> <p>(3) 都公連関係報告 委員：2月24日、3月23日に運営委員会を開催した。1月30日の研修には51人の参加。アンケートでは好評。反省としては、全日開催で半日は情報交換、ディスカッションも行いたかった。</p>	

28年度委員部会は会長東大和市、副会長昭島市。第1回運営委員会は4月27日午後2時から、東大和市中公民館にて。

委員部会から役員会に対して、非加盟市にも研修会等への出席を求める働きかけを進めてほしいという要望を出している。27年度は関ブロ等もあり無理だったが、28年度も引き続き申し入れていく。

事務局：役員当番市輪番表に沿って説明

(4) 公民館運営審議会委員研修報告

事務局：元福生市公民館長の伊東静一氏を講師に、田無市、保谷市の公民館の歩みも踏まえつつ、三多摩の公民館は何を受け継いでいくべきかお話いただいた。

委員：年度末で、時期的に慌ただしい開催であった。

事務局：来年度はもっと早い時期に開催したい。

議題3 審議事項

(1) 平成28年度西東京市公民館事業方針（案）について

委員：主催事業の企画・実施の考え方、「6館体制を生かした主催事業の展開」中「有機的に連携」とはどのような趣旨か。

事務局：6館が組織上のみならず内実をともなった連携をしていこうという趣旨。緊密性、統一性の意味合いを込めた装飾語と理解いただきたい。

委員：重点施策の「新しい公民館運営体制を構築します」中「市民参加の運営のしくみを検討していきます。」が諮問の背景にあるのか。

事務局：背景の一部としてある。

「（案）」を外して事業方針として承認。

(2) 事業計画書・事業報告書について

平成28年度公民館主催事業計画書（4件）、平成27年度公民館主催事業報告書（11件）

(事業計画書)

【田無】

・多文化共生講座「子育て中の今考えよう世界で地域で起きていること」

委員：防災を取り上げるのは大切なことである。外国人もともに地域を作る、という点を評価する。どのくらい外国人参加者があるか、も報告を待ちたい。父親も参加できることを次回期待したい。

【芝久保】

・女性講座 子育てMyスタイル～子どもの視点でこころとカラダを育む～

【谷戸】

・ロビーミニ講習会

【保谷駅前】

・地域課題を考える講座 困難を抱える若者を支える“場”をつくろう

委員：実際に「場をつくる」ことを目標としているのか。

事務局：「場をつくる」ことを視野に入れている。昨年の講座の実績を生かしていく。

(報告書)

【柳沢】

・西東京市は住みやすい街ランキング〇番目？ーランクアップをめざそう！

・高齢者対象講座（わが町探索と老いを考える）

・コミュニケーション講座 あなたの声の主役！ボイスドラマ講座

・柳フェス！2016（オールジャンルフェスティバル）

・みんなで考えよう！わたしたちの未来 まちづくりチャレンジ講座

委員：高齢者対象講座を評価するが、28年度は実施予定がないのは。他館で実施するのか。

事務局：28年度の事業計画を立案するにあたって館の役割分担を行った一環である。旧田無地域で高齢

者自身が学習をする事業を実施、旧保谷地域で高齢化を考える事業を実施する。旧保谷地域では福祉会館が高齢者自身が学習をする講座を実施している。

委員：柳フェス！でフェイスブック、ツイッターを活用した効果を感じる。他の事業でも活用できるだろう。

事務局：フェイスブック等はいくまで任意のものであり、公民館のものではなかった。ICTの活用は今後の課題と感じている。

【芝久保】

・女性講座 子育てMyスタイル ～子どもに伝えたい大切なこと～

・防災講座

・親子講座「こどもと一緒に本から学ぶ」～体験と本で理科の？がわかる！～

・地域で創る教育ネットワーク講座「センスアップ子育て」～原点をみつめよう～

委員：教育ネットワーク講座は以前と趣旨が変わってきている。学びながら地域のネットワークを育てていく、地域の子どもを見守っていく要素が薄まっているのはもったいない。

事務局：来年度以降、そうした視点を入れて立案していきたい。

【ひばりが丘】

・女性講座 わくわく未来をつくる五感のレシピ

委員：参加者の声に公民館講座の意義を感じたが、このような情報を職員間で共有する場はあるのか。

事務局：ひばりが丘公民館の中では共有している。中央館とひばりが丘は組織体制の変更にともない、情報共有の必要性は増す。他の館も含めて共有に努めていきたい。

委員：子育てにどうアプローチしていくかは、他部署等、関連領域があり、連携をどうしていくかなどイメージしながら講座が作られていくことを希望する。

委員：講座から多くのサークルができているが、公民館の部屋は確保できているのか。また、公民館以外にもいろいろな施設があるが、使える施設の情報が一元的にわかるようにならないか。

事務局：保育付サークルは現在のところは、活動に必要な部屋が確保できているとみている。他部署所管の施設については今後考えていく必要を感じる。複数サークルの合同保育という形態も工夫している。

館長：施設の有効活用の観点から、利用区分についても検証していきたい。

【保谷駅前】

・映像から「今」を考える

議題4 協議・確認事項

・諮問事項について

事務局：（諮問文読み上げ）

館長より会長に諮問文を提出

委員：答申の期限は。

事務局：29年度予算編成までに方向性を示していただけるとありがたい。

委員：評価の作成のタイミングは。

事務局：答申と同時期に並行して動いていただきたい。

委員：「課題の整理が今求められている」背景は。

事務局：ひばりが丘の分室化を契機に、利用者、市民の新しい参加のあり方を考えていかねばならない。ただしその件についてしばらくは、ひばりが丘の運営を見守っていきたい。主催事業について協働・参加について考えていくことが、今後の公民館運営に援用できると考える。市民、利用者が参加していくべき部分と、行政、公民館職員が担うべき部分をきちんと議論いただきたい。

また、平成25年の市の行政評価で、主催事業と市民企画事業が取り上げられている。それに回答していくためのお知恵をいただきたい。

委員：今の発言が諮問文に盛り込まれていた方がわかりやすい。参考資料のような形で示してほしい。今、全国の公民館で市民企画事業が大きなテーマになっているとも感じる。それだけに、格好のテーマであるが、諮問の意図を明確化してほしい。

館長：今後、「これからの公民館のあり方」について検討していかねばならないが、まずは主催事業について議論していただく。事業の要綱にも触れていただいて、協働・参加がどうかなえられるか、よろしくお願いいたします。

起草委員：呉、武司、石田、馬場、中曽根

評価作成担当委員：上田、瀬川、松嶋、野間、廣田、真鍋

議題5 事務連絡及び情報交換

事務局：利用者懇談会開催中。4月定例会で報告する。

28年度6館事業一覧を作成する。

委員：谷戸まつりが4月23・24日に開催される。

次回の日程について

平成28年度第2回定例会

4月27日（水）18時30分～

於：柳沢公民館 第1会議室